



打破



出す新たな一歩～



畠山

ことしの市長新春座談会は、「最強の市民ランナー」とも称され、数々のマラソン大会で好成績を収めてきた川内優輝さんをお招きし、上尾シティマラソンの魅力や2019年の抱負について語り合いました。



稔

上尾市との関わり

市長 明けましておめでとうございます。

川内 おめでとうございます。

市長 昨年の上尾シティマラソン（以下シティマラソン）は大変お疲れさまでした。川内さんには毎年参加していただき、ありがとうございます。川内さんは上尾市と縁が深いのですよね。

川内 そうですね。小学5年生の時に、初めてシティマラソンに参加し、3位になりました。中学生の時には、陸上の県大会の会場が上尾運動公園陸上競技場だったので「上尾を目指して頑張ろう」と言って練習していた記憶があります。高校生の時にアンカー区間を走った埼玉県駅伝では、上尾運動公園陸上競技場がゴールでした。大学生では、シティマラソンで3位に入賞し、1時間3分22秒という記録を出したことが、関東学連選抜（現在の関東学生連合）の一員として、箱根駅伝に出場する大きな要因となりました。社会人になってからも、シティマラソンには何度も参加しています。

市長 子どもの頃から、上尾市を訪れていただいているんですね。上尾市の印象はいかがですか。

市長
新春座談会

現状

~2019年 に踏み



川内優輝

プロフィール かわうち・ゆうき

1987年3月5日生まれ。学習院大学在学時、関東学連選抜の選手として箱根駅伝に2度出場。大学卒業後、埼玉県庁へ入庁。定時制高校の職員として勤務する傍ら練習を続け、世界選手権など数々の国際大会に出場。2018年4月に行われた第122回ポストンマラソンでは、世界のトップランナーを抑え優勝。2019年3月をもって埼玉県庁を退職し、4月以降はプロランナーへ転向することを表明している。

川内 まず感じたのは、シティマラソンの応援に多くの人が訪れていて、マラソン好き、スポーツ好きが集まる「スポーツの街」という印象です。

市長 市内には多くのスポーツ施設があります。また、上尾市は「スポーツ都市」を宣言しており、スポーツを通じたまちづくりを推進しています。そういった特色が現れているのかもしれないですね。

川内 また、3年前になりましたが、シティマラソンの前にけがをしてしまったことがあります。その時、最後尾からスタートしたのですが、沿道の皆さんからいつもと変わらぬ声援をいただき、温かい街だなと感じました。

市長 毎年シティマラソンの時季が近づくと、さまざまなイベントで「こっとも川内選手が来るね。楽しみだね」という声を耳にします。私も昨年、川内選手の世界レベルの走りを見近で見ることができ、大変感動しました。

川内 ありがとうございます。皆さんに楽しみに思っていただけのこと、励みになりますし、とてもうれしいです。



上尾市の魅力



市長 昨年のシティマラソンで、招待選手としては8年連続、大会自体には13回目の出場ということですが、印象はいかがですか。

川内 シティマラソンは、箱根駅伝にエントリーする選手を決める、選考会のような位置付けにしている大学も多いようです。各大学の選手たちが目の色を変えて、まさに死に物狂いで走っている、真剣勝負の場と

感じています。箱根駅伝に賭けている選手たちにとっては、人生を変え



シティマラソンでスターターを務める
島山市長

しょう。また、平坦なコースで走りやすく、記録が出やすいので、選手たちにとって魅力的な大会ですね。

市長 シティマラソンの認知度も少しずつ上がってきていますが、私ももっと多くの人に上尾市の名前や魅力を知ってもらいたいと思っています。そこで、各地のさまざまなレースに出場されている川内さんにお聞きしたいのですが、シティマラソンを通して、上尾市をもっとPRするにはどうしたらいいか、アドバイスをいただけますか。

川内 上尾市は電車などの交通の便が良く、東京や神奈川などからもストレスなく来ることができま

市長 そうですね。湘南新宿ラインや上野東京ラインも運行しており、東京や神奈川などからのアクセスは格段に良くなってきました。

川内 国内だけでなく世界的に見ても、好タイムを狙える素晴らしい大会なので、アクセスの良さをもっとPRできれば、全国各地から

参加者が集まるのではないでしょう

か。また、最近は海外の選手が増えてきたように感じます。大会に参加したランナーたちが、SNS(※)などで「上尾でこんなに良いタイムが出た」と発信してくれるれば、国内だけでなく世界中に「上尾」をPRすることができるとは思いませんか。

市長 上尾市にはたくさん良いところがあります。それを多くの人に来て、感じてもらうには、川内さんがおっしゃるとおり、アクセスの良さをPRするのが良いのかもしれないね。

マラソンは人生そのもの

市長 川内さんというと、レース終盤に強いことで有名ですが、あの粘りはどこからくるのでしょうか。

川内 成功体験だと思えます。苦しい場面諦めてしまうことは簡単です。しかし「頑張っついでいけば、前の選手のペースが落ちてくるかも

しれない」と耐え、その結果勝つことができる、同じような場面でも「あの時だって我慢して勝ったのだから」という気持ちが生えてきます。

市長 その成功体験の積み重ねが、あの世界的に有名なポストンマラソンの優勝にもつながったのでしょうか。あれは本当に感動しました。

川内 ありがとうございます。

市長 川内さんは数多くのレースに出場されることでも有名ですね。

川内 仕事をしているため、平日は1時間半から2時間程度の練習しかできません。その分、週末は追い込んだ練習をしたいと考えています。

また、私はチームに所属していないので、サポートスタッフやタイム係がいまません。レースでは給水所が整備されていて、運営スタッフがタイムも測ってくれます。こうした良い環境の中で、高いレベルの選手たちと走ることが出来ます。

市長 限られた時間を活用するために、考え抜いた結果なのですね。

※TwitterやFacebookなどの会員制交流サイトのこと。



川内 それに、道路の真ん中を走っても怒られませんしね。

市長 私もシティマラソンに参加したことがあります。沿道の応援を背に、街並みの中を走るのはいすく気持ちは良いですよ。

川内 あとは、旅行が大好きということもありますね。うれしいことに、各地のマラソンに呼んでいただいているので、練習を積みながらいろいろな場所を訪れることができます。日本各地、世界各地を回りたいという夢を、マラソンを通じて叶えているという感覚でしょうか。

市長 今「夢」という言葉ができましたが、川内さんにとってマラソンとはどのような存在なのでしょう。

川内 以前は最高の趣味くらいのものでしたが、今は「人生そのもの」といえる存在ですね。正直、子どもの頃は親にやらされているという感覚で、走るのには好きではありませんでした。ですが、ふと大学生くらいの時に、マラソンのおかげでいろいろ



シティマラソンで力走する川内選手

な経験ができたこと、マラソンを徐々に好きになっていくことに気がきました。嫌いだったものが好きになっていくことに驚きもしましたし、「マラソンを通じて経験したことには貴重なものばかりだったな」と後になって気付いたのです。今なら、自信を持って「マラソンが好き」と言えます。

市長 「人生そのもの」と言えるくらいめり込めるもの、夢中になれるものを持つていくことは素晴らしいことですね。上尾市としても、川内さんのように夢や目標を持った人たちを応援していきます。また、まだ見つけられていない人も、夢や

目標を見つけ、チャレンジできる環境を作っていきたいと思います。シティマラソンを盛り上げていくことも、その一歩だと思っています。

川内 昨年のシティマラソンでは、小・中学生の上位入賞者へ、現役トップランナーの設楽悠太選手や神野大地選手からシューズやグローブなどの記念品がプレゼントされました。あのような企画は、子どもたちの意欲につながり、とても素晴らしいと思います。

市長 川内さんからも記念品をいただいていますよ。大変感謝しております。これからも、参加者の皆さんが夢を持てる企画を増やしていきたいよう頑張ります。

現状打破

市長 終わりになりますが、ことしの抱負をお聞かせ願えますか。

川内 ことしはプロランナーとして活動を始める節目の年ですので、約

6年更新できていない自己ベストを更新したいです。座右の銘でもある「現状打破」ですね。

市長 「現状打破」、良い言葉ですね。自己ベストの更新、楽しみにしています。

川内 また、小・中学校などで講演をしてみたいですね。海外で経験したことやマラソンを通じて培ったものを、未来のアスリートに伝えていきたいなと思います。

市長 それは素晴らしい。ぜひ上尾市の子どもたちにも、トップアスリートの経験を伝えていただきたいです。私も、川内さんのアドバイスを参考にさせていただきながら、多くの人に上尾市の名前や魅力を知ってもらえる年になりたいと思います。本日はお忙しい中、本当にありがとうございました。今後とも応援していきます。

川内 さまざまな場所でも上尾市の名前を聞けることを楽しみにしています。ありがとうございました。